

子どもたちに、豊かな自然を残そう！

飯能市 加治丘陵

メガソーラー開発を考えるシンポジウム



©Shino

メガソーラーで、生きものあふれる17haの森林が伐採危機！

埼玉県飯能市は、「自然公園」を目的に（すなわち、豊かな森林を守るために）20億円かけて買い戻している、加治丘陵の森林を、たった年間120万円で、民間団体に貸し出し、今まさに、サッカー練習場とメガソーラー開発が行われようとしています。

開発予定地は多くの絶滅危惧種が確認された貴重な森です。市民や次世代に残していくべき大切な市民の財産のはずです。「本当にこの森を壊していいの？」「守るためにはどうすればいいの？」一緒に考えましょう！

2020年 9/27 (日)

【時間】開場 13:00 / 開演 13:30～

【会場】飯能市 市民会館 小ホール
飯能市大字飯能226-2 ☎042-972-3000

【参加費】無料 (定員120名)

プログラム

〔挨拶〕「生きものあふれる豊かな森を次世代に」

日本熊森協会 会長 室谷 悠子

「開発予定地の豊かな自然とメガソーラー計画の問題点」

加治丘陵の自然を考える会 飯能 代表:長谷川順子

〔講演〕

「開発から豊かな自然をどう守る？」

弁護士: 市川 守弘

質疑・意見交換

市川守弘弁護士 プロフィール

1954年東京都生まれ、中央大学法学部卒。1988年より札幌弁護士会登録（現在は旭川弁護士会所属）。アメリカのコロラド大学ロースクールの自然資源法センターに留学し、自然資源法、アメリカインディアン法を専攻。数々の自然保護裁判、アイヌの権利裁判に携わる。近年は風力発電やメガソーラーによる森林破壊の問題にも精力的に取り組んでいる。

主催：(一財)日本熊森協会 埼玉県支部 協力：加治丘陵の自然を考える会 飯能

後援：一般社団法人JELF（日本環境法律家連盟）

参加申込み Tel：0798-22-4190 FAX:0798-22-4196(熊森協会本部水:日:祝休み) E-mail:azu.hanno@gmail.com

※新型コロナウイルスの感染防止のため、定員制限があります。事前にお申込みください。